

2024.5.1

市長選挙と議会議員選挙の同時選挙について

海津市議会議員 二ノ宮 一貴

私は、市長選挙と議会議員選挙を同時に行うため議会を解散することに
賛成いたします。

※賛成理由

◎合併特例によるズレの解消

旧三町が合併し海津市が誕生した際、合併特例のうちの在任特例（合併する市町村の協議により、合併前の市町村の議員全員が合併後2年以内の期間引き続き在任するもの）により生じた市長選挙と議会議員選挙のズレを解消する。

◎選挙関係予算の削減

機器レンタル費用、人件費等、選挙関係予算の削減ができる。

◎投票率の向上

複数の選挙を同時に行うことで有権者の関心が高まり、投票率の向上が見込める。

◎市民・職員の負担軽減

現在の本市の状況では、1月に岐阜県知事選挙、4月に市長選挙、9月に議会議員選挙と年に3回の選挙があり、さらに参議院議員選挙が重なる年もある。市民の選挙運動に関わる負担、投票に行く負担の軽減はもちろん、職員が選挙業務に従事する負担の軽減ができる。

◎議員活動の充実

年度で考えた場合、1年のスタートは4月。できるだけ4月に近い時期に議員活動を始めることが年間サイクルを考えるとスムーズであり、特に新人議員にとっては1年目の議員活動にも大きな影響がある。また、次年度事業での市民要望の実現にも繋がる。